

令和5年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	大和市深見中児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター深見中会館管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

I. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均	開館日数 (日)
深見中	46	1,266	34	123	1,469	4.8	309

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

月	事業名	開催期間	参加者数
4	新一年生歓迎会(感染防止のため、中止) ※代替事業としてお祝いの品(学習帳・鉛筆)を配布:93人	4/4	
4・5	母の日工作(リースづくり)	4/25～5/14	8人
6	父の日工作(手形づくり)	6/1～6/18	23人
7	七夕のつどい(短冊作成・飾りつけ・防災クイズ・パネル等展示)	7/2	141人
7・8	夏まつり縁日風(ヨーヨー釣り・金魚すくい・当てくじ)	7/25～8/16	27人
8	敬老工作(反射材の折り鶴キーホルダーづくり)	8/1～8/16	18人
9	お月見工作(お月見シアターづくり)	9/21～9/29	8人
10	ハロウィン工作(ペーパーカップロゼットづくり)	10/19～10/30	7人
11・12	クリスマス工作(クリスマスカードづくり)	11/21～12/24	20人
12	クリスマス会(紙芝居・カーリング・ピッタリ重さゲーム)	12/10	175人
12・1	千支工作(お正月飾り(辰)づくり)	12/27～1/10	9人
1・2	節分週間(節分、ストラックアウト)	1/30～2/3	5人
2	ひなまつり春の工作(さくらもちスクイズづくり)	2/21～2/27	15人
3	ひなまつり週間(ロンドローロ大会)	3/1～3/8	16人

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,976,033	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,882,728
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	93,305
収入計(①)	2,976,033	支出計(②)	2,976,033

収支決算	0
------	---

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和6年2月から3月にかけて利用者アンケートを実施し、令和5年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類感染症に移行してからの運営について、昨年度より来館者数が減少しましたが、毎月実施している工作やイベント等の実施により、一定数の児童が放課後の居場所として利用していることから、より多くの子どもたちが集う児童館となるよう、児童館の情報を子ども会への回覧や小学校への掲示など、今後における児童館の情報発信の充実に期待します。 ・子どもたちの意見を聞き、人気本などを増やしていることは、子どもたちが児童館を継続して利用するだけでなく、児童館の満足度にもつながるため、高く評価します。 ・利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 ・工作は、昨年度とは異なった内容を、毎月実施し、児童の創作意欲の向上と、児童館を継続的に利用する機会を創出している点について評価します。 ・コロナ禍の影響により、昨年度開催できなかった七夕のつどいを再開させ、子どもたちにとって有意義な時間となるように企画した点を評価します。 ・子どもたちが作った反射材の折り鶴を敬老会へプレゼントすることについては、子どもたちが高齢者を敬愛する気持ちを育むだけでなく、地域の方々との交流の重要性を学ぶ機会をつくる企画となっている点を高く評価します。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。 ・太陽光発電を行い、節電を呼びかけ、エネルギー使用量削減に取り組んでいる点を評価します。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。